



美に
耽る。

はじめに

この冊子を手にとってくださり、ありがとうございます。
あなたは展示されている作品のどれかを読んだことのある方でしょうか？
もしくは、耽美派の文学に興味がある方でしょうか？
それとも、近代の文学に親しみたい方でしょうか？

今回は、日本の「耽美派」の文学作品を中心に展示させていただいています。

触れたことのない方は興味だけでも持っていただければ、
すでに知っている方はもう少し深く、広く知っていただければ幸いです。

耽美主義とは？

一九世紀後半、フランスおよびイギリスを中心に起こった芸術思潮。美を最高の価値と考え、その創造を人生の唯一の目的とする態度。自然より人工、精神より感覚・情緒、内容より形式、写実より虚構を重んじ、また、美を真、善の上に置き、時には悪にも美を認めて既成道徳を無視し、反俗的態度に終始した。そこから芸術至上主義、享楽主義などが展開された。

日本国語大辞典第二版編集委員会、小学館国語辞典編集部編『日本国語大辞典』第二版、第八巻（小学館、二〇〇一年）より引用

耽美派とは？

耽美主義をおし進めた芸術上の人々。フランスのボードレー、イギリスのペーター、ワイルドなどを代表とする。わが国では、明治末期に森鷗外、上田敏などによって紹介・先導され、雑誌「スバル」「三田文学」や第二次「新思潮」を拠点に、北原白秋、木下杢太郎、永井荷風、谷崎潤一郎などによって継承推進され、芸術上の開花を見た。唯美派。

日本国語大辞典第二版編集委員会、小学館国語辞典編集部編『日本国語大辞典』第二版、第八巻（小学館、二〇〇一年）より引用

流れ

時は明治三十年代、現実をありのままに描写する文学がみられるようになりました。それが、島崎藤村の『破戒』や田山花袋の『蒲団』で確立した自然主義。その自然主義に批判的だったのは森鷗外や夏目漱石でした。

夏目漱石の影響を受けて、白樺派や新思潮派の作家たちが育ってきます。森鷗外の影響を受けて、耽美派の作家たちが登場します。

森鷗外（1862年～1922年）



国立国会図書館
「近代日本人の肖像」

小説家、評論家、翻訳家、軍医。陸軍軍医としてドイツに留学し、軍医として昇進する一方、翻訳や評論、創作そして文芸誌刊行などの多彩な文学活動を展開しました。

「スバル」創刊（1909年1月～1913年12月）

文芸雑誌。「明星」廃刊後、森鷗外を中心に石川啄木、木下杢太郎、吉井勇らが発刊しました。詩歌中心で、新浪漫主義思潮の拠点となりました。

『キタ・セクスアリス』（新潮社、1993年） / 大学図・1F開架 Shincho/も 1/3

『森鷗外集』第一巻（「現代日本文学全集」、筑摩書房、1953年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/5/7

「世間の人は性欲の虎を放し飼にして、どうかすると、
その背に騎のって、滅亡の谷に墜ちる。」

哲学講師の金井湛君は、何か人の書かない事を書こうと思っていましたが、ある日自分の性欲の歴史を書いてみようと思い立ちます。六歳の時に見た絵草紙の話にはじまり、寄宿舍で上級生を避けて窓の外へ逃げた話、硬派の古賀や美男の児島と結んだ三角同盟から、はじめての吉原まで…淡々と客観的に描かれた自伝体小説です。

『青年』（新潮社、1985年） / 大学図・1F開架 Shincho/も 1/2

『森鷗外集』第二卷（「現代日本文学全集」、筑摩書房、1956年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/5/55

夏目漱石『三四郎』（新潮社、2011年 / 大学図・1F開架 Shincho/な 1/4）を意識した作品。

作家を志して上京した小泉純一は、有名な作家を訪ねたり、医科大学生大村に啓発されたりして日々を過す一方で、劇場で知りあった謎の目をもつ坂井未亡人とも交際を重ねます。しかし、夫人を追ってきた箱根で、純一は夫人が美しい肉の塊にすぎないと感じます。

『雁』（新潮社、1985年） / 大学図・1F開架 Shincho/も 1/1

『森鷗外集』第一卷（「現代日本文学全集」、筑摩書房、1953年）
/ 大学図・書庫 910.82/5/7

貧しくも無邪気に育ったお玉は、結婚に失敗して自殺をはかりますが果せず、高利貸しの末造に望まれてその妾になることに。女中と二人暮らしのお玉は大学生の岡田を知り、しだいに想いをつのらせますが——

永井荷風（1879年～1959年）

小説家。『野心』や『地獄の花』で自然主義文学を日本文学に移植しました。その後、アメリカ・フランスに外遊すると、『あめりか物語』『ふらんす物語』の浪漫的・耽美的詩情で作家的地位を確立しました。

自然主義的

『地獄の花』（岩波書店、1954年） / 大学図・書庫 081.2/33C/574

『永井荷風集』第二卷（「現代日本文学全集」、筑摩書房、1958年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/5/68

巨万の富を持ちながらも社会から排斥される黒淵家に、家庭教師として入った園子だが…。

浪漫主義・耽美主義的

『あめりか物語』（新潮社、1951年） / 大学図・1F開架 Shincho/な4/2

『永井荷風集』第一巻（「現代日本文学大系」、筑摩書房、1969年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/27/23

明治41年、自然主義文学に一撃を与えた短篇集

『ふらんす物語』（新潮社、1968年） / 大学図・1F開架 Shincho/な4/1

『永井荷風集』第一巻（「現代日本文学大系」、筑摩書房、1969年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/27/23

永井荷風が体験した西洋を綴ったこの作品集は、耽美派文学の源流となりました。

『すみだ川』（『すみだ川・新橋夜話』、岩波書店、1987年）

/ 大学図・1F開架 081.2/33Cア/480 大学図・書庫 081.2/33C/480

『永井荷風集』第一巻（「現代日本文学大系」、筑摩書房、1969年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/27/23

常盤津の師匠の母、俳諧の宗匠の伯父を持つ中学生長吉の、今や芸妓になった幼馴染お糸への恋心を豊かに描いています。

『冷笑』（『荷風全集』第4巻、岩波書店、1964年） / 大学図・書庫 910.81/25/4

『永井荷風集』（「明治文学全集」、筑摩書房、1969年）所収

/ 大学図・書庫 910.82/8/73

/ 大学図・書庫 910.82/8ア/73

『腕くらべ』（岩波書店、1987年） / 大学図・書庫 081.2/33C/176a

『永井荷風集』第一巻（「現代日本文学大系」、筑摩書房、1969年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/27/23

「三田文学」創刊（1910年-。現在1985年から第八次「三田文学」として発行中。）

文芸雑誌。森鷗外、上田敏の斡旋で永井荷風を慶應義塾大学教授に迎え、同大学文科の発展を期して創刊されました。ちなみに「三田」は同大学所在地名です。

谷崎潤一郎（1886年～1965年）

小説家。第二次「新思潮」同人として出発し、耽美的・悪魔主義的な傾向の作品を発表しました。関東大震災を機に関西に移住、古典的・伝統的な日本美に傾倒し、新境地をひらきました。

小山内薫らと第二次「新思潮」を創刊（1910年9月～1911年3月）

文芸雑誌。小山内薫の個人編集による演劇中心の芸術総合誌として創刊されたのにはじまります。

「刺青」（『刺青・秘密』、新潮社、1994年） / 大学図・1F開架 Shincho/た1/2

『谷崎潤一郎全集』第一巻（中央公論社、1966年）所収 / 大学図・書庫 910.81/52/1

肌を刺されて痛みを悶える人の姿に何とも言いようのない愉悦を感じる刺青師清吉が長年の望みであった光輝ある美女の背に蜘蛛を彫り終えた時、今度は——。処女作「刺青」。谷崎潤一郎入門となる、かな…？

「麒麟」、「悪魔」（『刺青 美 悪魔』、中央公論新社、2015年）

/ 大学図・書庫 918.68A/Ta88t/1

『谷崎潤一郎全集』第一巻（中央公論社、1966年）所収 / 大学図・書庫 910.81/52/1



『痴人の愛』（新潮社、2003年） / 大学図・1F開架 Shincho/た1/1

『谷崎潤一郎全集』第十卷（中央公論社、1967年）所収 / 大学図・書庫 910.81/52/10

「その卑しむべき娼婦の姿を、さながら女神を打ち仰ぐように崇拜さえもした」

会社では「君子」とまで呼ばれたまじめな讓治は将来美人確定の家出娘ナオミに一目惚れし、同居生活にもちこみました。欲しがるものはなんでも与え、一流の女に育てようと教育に奮闘します。しかし、いつしか、讓治はナオミに支配されていく——。

『兎』（新潮社、2010年） / 大学図・1F開架 913.6A/Ta88m

『谷崎潤一郎全集』第十一卷（中央公論社、1967年）所収 / 大学図・書庫 910.81/52/11

「ああ、憎たらしい、こんな綺麗な体してて！うちあんた殺してやりたい」

「殺して、殺して、——うちあんたに殺されたい、——」

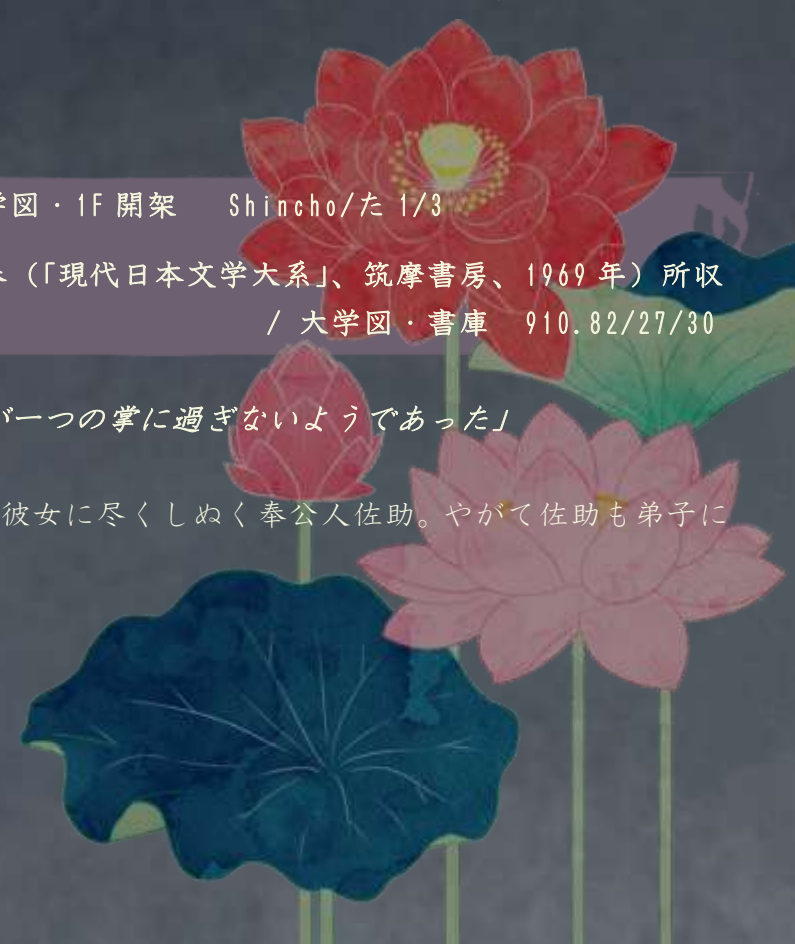
夫に不満のある若い妻・園子は、技芸学校で出会った光子と禁断の関係に落ちてしまいます。しかし奔放で妖艶な光子は、一方で異性の恋人との関係が続けていました。光子への情欲と独占欲に苦しむ園子、そして光子の魅力は園子の夫までも巻き込んで…。関西弁で綴られる生々しい告白の衝撃的な結末。

『春琴抄』（新潮社、1987年） / 大学図・1F開架 Shincho/た1/3

『谷崎潤一郎集』第一卷（「現代日本文学大系」、筑摩書房、1969年）所収
/ 大学図・書庫 910.82/27/30

「春琴には佐助というものが一つの掌に過ぎないようであった」

美しく傲慢な盲目の三味線師匠春琴と、彼女に尽くしぬく奉公人佐助。やがて佐助も弟子になると、春琴の嗜虐的な稽古の虜に…？



『細雪』(新潮社、1967～1968年) / 大学図・1F 開架

【上巻】Shincho/た 1/9 【中巻】Shincho/た 1/10 【下巻】Shincho/た 1/11

『谷崎潤一郎全集』第十五巻(中央公論社、1968年)所収

/ 大学図・書庫 910.81/52/15

谷崎潤一郎の初期の作品に影響を与えた作品



オスカー・ワイルド (1854 年～1900 年)

イギリスの詩人、劇作家、小説家。唯美派をもって任じ、美のための美を唱えました。

「サロメ」(西村孝次訳『サロメ ウィンダミア卿夫人の扇』、新潮社、1973 年) / 大学図・1F 開架 Shincho/ワ 1/2

『ドリアン・グレイの肖像』(福田恆存訳、新潮社、2004 年) / 大学図・1F 開架 Shincho/ワ 1/1



エドガー・アラン・ポー (1809 年～1849 年)

アメリカの詩人・小説家・批評家であり、怪奇的・幻想的な多くの短編小説を書きました。

「アルンハイムの地所」(丸谷オー[ほか]訳『ポオ小説全集』第 4 巻、東京創元社、1974 年) / 大学図・書庫 933/493/4

美に耽る。

発行日：2017年12月1日

発行者：学習院大学図書館

担当者：学習院大学文学部日本語日本文学科三年 横山詩乃

デザイン：学習院大学文学部哲学科二年 富川博貴

監修：学習院大学図書館情報サービス課 正木さと子

本冊子は大学図書館ホームページでも公開しております

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/exhibition.html>



illustration by tokyogeometry